

日韓伝統芸能の協同による新演出 한일 전통 예능의 협동에 의한 새로운 연출

ぼうこんか

新作能

多田富雄 作
清水寛二 演出

望恨歌

망한가
マンハンガ

한국 농악

韩国農樂
ノンアク

코젠 狂言二人袴

이야기 おはなし

保立道久
東京大学名誉教授

山の端の 月よ高みに昇り給え

ああ 四方を遠く照らし給え

ぬしは市に通うらん

ああ 泥濘に足をとらるな

心しずかにせくまいぞ

ぬしの夜道に胸さわぐ

夫を想う妻の心を歌った百済歌謡「井邑詞」より

2021
12.
25

土
14:00開演

국립노가쿠극장 国立能楽堂



撮影=チャンキョンミ

狂言二人袴

シテ 親
アド 舅
アド 太郎冠者
アド 髷
野村又三郎
野口 隆行
野村 信朗
奥津健一郎

韓国農樂

シテ 親
アド 舅
アド 太郎冠者
アド 髷
野村又三郎
野口 隆行
野村 信朗
奥津健一郎

おはなし

保立 道久
東京大学名誉教授
(歴史学)

第9回 天籟能の会 텐라이노가쿠모임

新作能望恨歌

多田富雄 作 清水寛 演出

シテ 李東人の寡婦
牛の尾の老婆 清水 寛二
ワキ 九州の僧 安田 登
アイ 韓国の村人 奥津健太郎

韓国農樂メンバー

笛 梶宅 聡
小鼓 田邊 恭資
大鼓 大倉慶乃助
後見 加藤 眞悟
山中 迺晶
青木 健一 八田 達也
古室 知也 小早川 修
梅若 泰志 西村 高夫
長谷川晴彦 伊藤 嘉章

昨年一月、第八回天籟能の会において韓国の民俗芸能「農樂」と日本の「能樂」、ふたつの「のがく」による舞台が国立能楽堂で上演されました。日本と東アジアの過去と未来を語る舞台は反響を呼び、この度、満を持して故多田富雄作の新作能『望恨歌』が、日韓芸能の協同プロジェクトとして清水寛二師の新演出により実現します。お見逃しなく！

■新作能〈望恨歌〉

先の戦争から数十年を経たある日、九州八幡の僧が一通の文を携えて韓国全羅道丹月の村を訪れる。その文は、戦時中、日本に連行され過酷な労働を強いられた末に亡くなった男が若き妻に宛てたものだった。今は老女となった妻は文を見て「ああ、再び会いましたね」と嘆き悲しみ、夫を案じる百濟歌謡「井邑詞」の一節を謡う。そして、その音が冥界に届くという砦を打ち、晩秋の寒さ深まるなかで舞を舞う。

■韓国農樂

朝鮮半島各地に伝わる民俗芸能。古来、農村で愛され、旧正月には地の神を鎮めて平安を祈念し、春は豊作を願う祭り、夏はつらい農作業を鼓舞し、秋は収穫を祝って演じるなど、まさに農民の営みとともにある。「農者天下之大本」の神竿を掲げ、躍動的に謡い踊る様は現代人の心もとらえて離さない。

■狂言〈二人袴〉

結婚後、妻の実家に初めて行く賀入の日、賀は理由をつけて行くのを嫌がる。親は仕方なく舅の家の前まで付き添い、賀は儀礼に欠かせない袴を穿いて何とか舅への挨拶を済ませる。ところが、舅宅の太郎冠者が門前の親を見つけてしまい、今度は親が舅に会うことに。袴が一具しかなく、賀と親は門前で袴を穿き替えるのだが…。

▶ワークショップを開催します

主催メンバーや多彩なゲストによる天籟能の会名物のワークショップ。能狂言の基本はもちろん、上演する演目を様々な面から探り、実演も行う充実の内容です。参加費はお賽銭。どうぞお気軽にご参加ください！

10月 6日(水)、19日(火)
11月 5日(金)、19日(金)、29日(月)
12月 9日(木)、23日(木)
*各回19時~21時 会場=代々木上原



詳細は公式サイトまたは事務局まで

▶会場 国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

中央・総武線 千駄ヶ谷駅 徒歩5分 大江戸線 国立競技場駅 A4 出口徒歩5分
副都心線 北参道駅 出口1 徒歩7分

▶チケット

正面席 9,000円 脇正面席 7,000円 中正面席 5,000円
脇正面後方 GB席 5,000円
各種割引: 学生割引、在日・外国籍割引 全席種1,000円引

▶お申し込み・お問い合わせ

電話 080-5520-1133
天籟能の会事務局 メール noh@watowa.net

※出演者等の変更の場合は何卒ご了承ください。



公演・ワークショップの詳細は公式サイトをご覧ください。
<http://watowa.net/boukonka/>

最新情報は
ツイッターで!



安田 登 @eutonie
梶宅 聡 @tsukitac
奥津健太郎 @okutsukentaro
天籟能の会事務局 @NohTenrai